

医薬品を正しく使おう、新聞

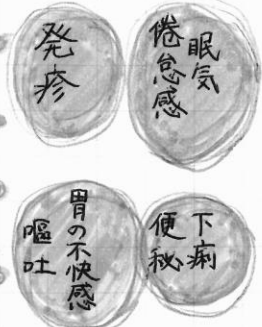
発行者

福岡市立春吉中学校
二年 五組
高島季絵

私はアトピー性皮膚炎を持っており、毎日薬を塗っています。また、花粉症の症状が出たり、風邪になったりしたときには、薬を飲む必要がありません。それほど身近で、症状を和らげることで、使える「医薬品」。しかし、使い方を間違えると、薬の効き目が弱くなったり、強くなりすぎたりして、薬の副作用が現れることがあるのです。



薬の副作用って？



薬の副作用は、薬を使う人の体質や、薬の使い方などが原因で起こります。

塗り薬の使い方

お風呂上がり

に塗るのがベスト！

清潔な手で、清潔な肌塗ることで、薬の効果が十分に発揮されます。そのため、体を洗った直後のお風呂上がりに塗るのがおすすめです。



チューブの口から直接患部に塗らない！

チューブ内に菌が入らないように、指に薬をとってから塗りましょう。

薬はたっぷり塗る！



飲み薬の使い方

用法・用量を守る！

飲み薬を決められた量よりも多く飲むと、副作用や中毒を起こす危険が高まります。用法についても同様です。

薬の飲み合わせに気を付ける！

薬には、ジュースやアイスと一緒に飲んでいいものと、飲んではいけないものがあります。グレープフルーツジュースや牛乳などは、薬の効果を変えてしまうので、薬が飲みづらくなる場合は、医師や薬剤師に相談するようにしましょう。

コップ一杯の水で飲む！

飲み薬を確実に胃に届けるためには、コップ一杯分の水が必要ですが、水が少なすぎると、薬が食道などに引っかかってしまうことがあります。

編集後記

薬の効果が「弱まる」だけでなく「強まる」ことがあるというのに驚きました。薬を安全に使えるように気を付けてほしいと思います。

